

新聞紙に見えたる子供の記事

▲女子と兒童の教育

女子は、細かな點に氣がつくから兒童を育てるには、至極適任のやうに思ふけれども、其實左様でなささうです。兎角子供は、女の手にかげぬが一番よろしい。殊に男の子は、其様に思はれます。それで保姆を七八歳の男子につけるは、其子の身心を弱くさせ、面白からぬ性質を増長させる弊害があります。此點は學校と家庭との方で深く注意した方がよからうと存じます。一言で申しますと男子は早くから其の善い子供と一處に男の中に置くのがよいと思ひます云々。

▲子供の手の使ひ方

小児が發育して漸く兩手に物を取るが爲に使用し得るに至るや、右手を多

く用ゐるか或は左手を多く用ゐるか或は又兩手を用ゐるかと云ふ事につき、米國の有名なる心理學者バルドウキン氏は自分の子供の生後五ヶ月より九ヶ月の間に調べたる結果は物を取る爲めに兩手を出せし事千〇四十四左手を出せし事五百八十六回右手は五百七十七回なりしと云ふ

▲歐米の子供の子供然たらざる事

人或は日本人

の子供の繪畫は子供らしからずして、成人の小なる者也と云ふ、然り左れど一度歐米に至つて子供を能く觀察すれば、日本の子供の繪畫の成人らしきよりも更に一層成人らしき子供あるに驚かざるを得ず、其身體其聲音等は幼稚なる年齢を代表し居れども、手つきと足つきとに至りて其年齢は相應せざるもの甚だ多し、例へば十歳ばかりの兒童が指一二本にて頬杖をつき或は兩手を後ろに組む

等又直立し居る時には足に一種の様子を附する等成人の動作と全く異なる所なきものなり、歐米のうち殊に佛英米の順序に此種の兒童多く、獨逸露西亞に至りては甚だ少なし我國に於ては東京の中央にも決して未だ斯の如き兒童は存せざるなり、歐米の子供の繪畫か實に能く子供の愛らしさを寫したるを以て、歐米の子供か全體斯の如く子供然たる愛らしき者と思ふは大なる誤なり

▲子供について獨佛の差 一國の盛衰は其國民か子供を厄介物にするとせざるとの状態によつてトする事を得べし、獨逸にては先つ一般の風習として四人又は五人の子供を有するは人たるもの、普通の事となし、それ以上の多くの子供を壯健に養育するを頗る自慢とす、然るに佛國にては寧ろ子供のなからんを希望し或はたい一人或は二人

の子供を有するを以て一般となしそれ以上の子供を養育するは一般の人の最も好まざる所なり、以つて此兩國の盛衰を知るを得べし

### 菜食の功

▲ベルツ博士の菜食論 醫學の泰斗として殊に我國民の體質に就て研究を遂げたるベルツ博士は數年前よりして日本歩兵は歐洲最良の歩兵よりも優勝を占む可きとを確信し、且つ其理由を菜食に歸したり、博士の説に依れば肉食する人は窒素分過多なる爲め、耐久力を有せず、現に駑足又は登山等に就て日本人の疲勞せざるは菜食の賜なりと、博士は北清事變の際には自己の所信を確むる好時機とし、仔細に觀察したるが、歐洲兵は一として日本歩兵の耐久力に抵抗し得るものなかりしと